

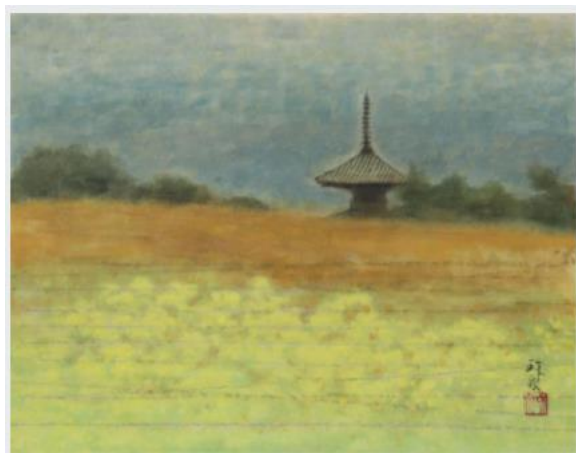
東京登龍会の皆様

令和3年11月9日

令和3年活動報告に代えて

会長 遠藤泰司

令和3年の東京登龍会総会は、5月開催を延期して12月予定に変更しました。しかし残念ながら12月でも望ましい開催体制がとれないことが判り、やむなく中止を決めました。総会の議案と報告事項につきましては、本年7月に皆さまに書面で提案し、ご承認をいただいております。次回の東京登龍会総会は、令和4年5月に開催予定します。



斑鳩の里 (法起寺) 今井 珠泉

- 新型コロナ新規感染数は、最盛期に1日2万6千人を越えました。それが全国の新規感染者225人(11/5)へと、劇的な急速度で終息状態になりました。まだ油断は禁物とはいえ、東京登龍会の皆さまと共に恐怖と不自由な日常からの解放を喜びたいと思います。これまでに感染被害に遭われた方、あるいはコロナ禍によりさまざまな不都合を受けた方には、深甚のお見舞いを申し上げます。
- 吉成河法吏(高24)さんは、茨城県の医療法人で経営スタッフとして、感染症研究と医療現場で活躍しておられます。「新型コロナの死闘パート1, パート2, パート3」(医薬経済社刊)の著書を昨年から今年9月にかけて刊行されました。新型コロナ禍の実態と感染対策の広汎な学術書です。乞うさらなるご活躍。
- 東京登龍会ホームページ2015年の開設以来、今井珠泉画伯(中22、昭和22年卒)の院展出品作品を掲載させて戴いています。上記の作品「斑鳩の里」は、今年11月の同人新作展の出品作品です。先生は今年93才、日本美術院の重鎮としてご活躍中です。各年の院展出品作品は、ホームページでご覧になれます。
- 11月3日、今年の秋の叙勲発表がありました。下記のお二人が受賞されました。私共同窓者として誇らしくまた喜ばしい限りです。お祝い申し上げます。
瑞宝小綬章 双石芳則さん(高20) 元空将補、元航空自衛隊第5術科学校長
瑞宝双光章 星立志さん(高19) 元在大韓民国日本国大使館一等書記官
- 東京登龍会の人事上のうれしい話題がありました。
 - a. 常任幹事1名と幹事10名の方が、快く委嘱に応じていただきました。平成生まれの幹事が7名となり、会の世代交代が進みました。コロナ後の、活動計画展開には期待しております。
 - b. 事務局長は、松岡久幸(高22)さんのあと、矢吹幸夫(高28)さんが就任しました。松岡さんお疲れさまでした。新任の矢吹さんに温いサポートをお願いします。
 - c. コロナ禍のなかで、東京登龍会の会務は、4人の副会長の副会長会が頻りに招集され、重要案件の審議・決定をしていただきました。ありがとうございました。
- 白河高校創立100周年記念日(令和4年10月)に向けて、記念事業実行委員会(委員長鈴木同窓会会長)が立ち上がっております。記念事業のために、すでに白河高校同窓生全員に対し、寄付金を募る告知が行われておりますことは、ご存知のとおりです。記念事業内容は、現役の生徒の希望により、使用頻度の高い登龍会館の改修とマイクロバスのリース契約等の事業が決まり、それに拠出されます。郷里白河を想い、後輩の学業支援をとおして私共自身の学恩に報いる機会であると思いますので、皆さまの前向きなご対応をお願いする次第です。